



内子町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の影響による気候変動は世界各地で深刻な自然災害を引き起こし、日本国内においても、猛暑や集中豪雨、大型台風などの頻発によって、私たちの生命と暮らしが脅かされる状況となっています。

2015 年のパリ協定では、「世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて 1.5℃に抑える努力をする」との目標が国際的に共有され、さらに気候変動に関する政府間パネル（ICPP）「1.5℃特別報告書」において、「気温上昇を 1.5℃に抑えるためには、2030 年までに二酸化炭素排出量を半減させ、2050 年までに実質ゼロにすることが必要」との知見が示されました。

喫緊の課題である気候危機に立ち向かうため、今、世界各国が取り組みを進めています。

内子町は「エコロジータウン内子」をキャッチフレーズに掲げ、町民の皆さまと共にまちづくりの歩みを進めてきました。加えて 2023 年 3 月、脱炭素への取り組みを加速するべく「内子町脱炭素戦略」を策定し、再生可能エネルギー導入目標等を示したところです。

「町並み、村並み、山並みが美しい 持続的に発展するまち」を実現し、将来世代に希望ある未来を引き継いでいくため、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティうちこ」を目指すことを、ここに宣言します。

令和 5 年 3 月 3 日

内子町長

小野植正久